

「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法」を活かして  
福祉避難所・高齢者施設等に「アイ・ドラゴン4」を設置してください  
==4月1日から合理的配慮の提供が義務化されました==

長野県須坂市では関係機関と市民が協力して総合防災訓練をおこない、「アイ・ドラゴン4」も訓練に導入されました。



早朝からたくさんの人たちが集合



「アイ・ドラゴン4」で「目で聴くテレビ」の防災情報番組を見る人々



設置してもらったのはとても良かった  
須坂市聴覚障害者協会の手塚貴子会長  
(ニュースウォーカーより)  
[https://www.youtube.com/watch?v=\\_QM0aMAZt2s](https://www.youtube.com/watch?v=_QM0aMAZt2s)

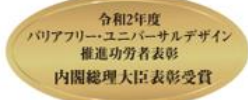
ご当地の市町村に、聴覚障害者災害救援中央本部・貴協会・障害者放送通信機構連名の要望書を提出してください。

総務省は、「アイ・ドラゴン4」などの整備に要する経費について特別交付税措置を講じています。市町村の担当課は防災課ですので、すぐに問い合わせしてください。



聴覚障害者用情報受信装置「アイ・ドラゴン4」

認定特定非営利活動法人 障害者放送通信機構は、文化庁からリアルタイム字幕配信事業者の指定を受けています。



「アイ・ドラゴン4」の機能

- 災害時に手話言語で緊急災害放送を見る
- 「目で聴くテレビ」が収集した災害時情報をオリジナル番組で見る  
(全国の聴覚障害者情報提供施設と協力)
- 「リアルタイム手話・字幕放送」を見る  
(国立研究開発法人 情報通信研究機構 (NICT) 助成事業)
- 2,000本超の手話番組アーカイブを24時間いつでも見られる  
(防災学習用としてもお使いいただけます)

「自分が助かる！誰かも助ける！防災体験会」をおすすめします

(防災体験会の内容例)

- 「個別避難計画」(マイ・タイムライン)の作成
- 万一の場合に自分と家族が行くべき避難所の確認
- 自分が助けられることができる人・一緒に避難できる人は誰かについて話し合う
- 非常時持ち出しリュックの中身を披露し合う
- 停電時にスマホを充電する方法を学ぶ
- 「アイ・ドラゴン4」で「目で聴くテレビ」の防災動画をみて基本的な防災減災の知識を得る



『office 風の器』を主宰し俳優で演出家の庄崎隆志さん(ろう者)が魅力的な手話で「稲むらの火」を語ります  
手話動画「稲むらの火」

「アイ・ドラゴン4」は、日常生活用具としてご利用いただけることはもちろん、緊急災害時にはすべての人に必要な情報をお届けする情報アクセシビリティ対応機器です。